

1 単元について

対 象 学 年	中学校 第3学年
学 習 指 導 要 領	第3学年の内容 A話す・聞くこと(1)ア、イ 言語事項(1)ウ
単 元 名	生活を見つめ、自分の考えを確かめよう ～「教室には冷房設備が必要か」について、 自分の立場とその根拠を仲間に伝えよう～ (全7時間)
単 元 目 標	論題についての自分の立場やその根拠について進んで話したり、話し手の立場や根拠を的確に聞き分けようとするができる。(国語への関心・意欲・態度) 話し手は、根拠となる様々な情報をもとにして立場を明確にし、相手に伝えることができる。 聞き手は話し手の考え方と自分自身のそれを比較したり、話の根拠を確かめることができる。(話す・聞く能力) 話し手は中心となる根拠を決め、その根拠が明確になるよう話の展開や構成を工夫して相手に伝えることができる。 聞き手は話し手の根拠の中心を的確に聞き取り、自分との共通点や相違点を聞き分け、考えを深めることができる。(話す・聞く能力) 根拠を説明するために、抽象的な語句を理解し、自分の文章や話の中で適切に用いることができる。(言語についての知識・理解・技能)
配 慮 事 項	基礎的・基本的な内容の確実な定着の工夫 個の学習状況に応じた多様な指導方法の工夫 ・立場が決められない生徒には、必要・不必要に感じた生活体験を列挙させ、立場を決めるよう援助する。また、立場は決めたものの根拠が不足する生徒には、該当の新聞記事等の資料を提示したり、さらには一般的な立場や自分の立場、他の根拠はどうかなど多面的に考えるよう指導・援助を行う。 ・話し手は話すためのもととなる文章を書くものの、原稿を読むことにならないよう、内容のまとまりが明確になるような間のとり方、中心となる根拠やポイントとなる語句が明確になる強弱のつけ方等を指導・援助する。 一人一人のよさや進歩の状況の評価結果を学習活動に生かす指導の工夫 ・毎時間の自己評価観点をきめ細かく設定し、学習の途中で確認をするようにさせ、その状況をもとに指導する。さらに自己評価の結果を実際の話し方の分かりやすさと結び付けて指導することにより、学習の有効感や充実感を持つことができるようにする。また、生徒同士の教え合いなどにも活用しより効率よく学習が進められるよう指導に活用する。 【言語活動】立場を決めた意見発表会 【言語意識】 (相手) グループの仲間、クラスの仲間 (目的) 自分の立場を明らかにし、明確な根拠を伝えるため (場面・状況) 6人程度のグループで賛否に分かれ、意見交流する状況 (方法) 立場や根拠の発表と、それに対する質疑応答をするという話し合いで (評価) 根拠の中心となる語句にそって自分の考えを伝えられたか 根拠への共感できる点、根拠の不十分な点を見付けられたか。
参 考 資 料	資料1：第1時の学習プリント・・・「教室に冷房設備は必要か」について、必要派の『教室冷房化 生徒の健康に必要』の新聞投書を載せた作文プリント 資料2：第1時の学習プリント・・・「教室に冷房設備は必要か」について、不必要派の『教室の冷房はやめるべきだ』の新聞投書を載せた作文プリント

2 単元の評価規準

	ア 国語への関心 ・意欲・態度	ウ 話す・聞く能力	オ 言語についての知識・理解 ・技能
内容のまとめりごとの評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ・広い範囲から話題を求め、表現を工夫して話そうとしたり相手の立場や考えを尊重して的確に聞き取ろうとしたりするとともに、話し言葉を豊かにし言語生活を向上させようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・広い範囲から話題をとらえて話している。 ・話し手のものの見方や考え方をとらえて、自分のものの見方や考え方を広めたり深めたりしている。 ・話の中心の部分と付加的な部分との関係に注意して、話したり聞き取ったりしている。 ・事実と意見との関係に注意し、論理的な構成や展開を考えて、話したり聞き取ったりしている。 ・話の内容に応じ、適切な語句を選択して、話したり聞き取ったりしている。 ・話の意図に応じ、文の効果的な使い方など説得力のある表現の仕方に注意して、話したり聞き取ったりしている。 ・相手の立場や考えを尊重し、目的や場面に応じて、話したり聞き分けたりしている。 ・互いの共通点や相違点などを聞き分け、自分の考えを広めたり深めたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音声の働きや仕組みに関心を持ち、話したり聞いたりして理解を深めている。 ・慣用句、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句の意味や用法に注意して話したり聞いたりしている。 ・抽象的な概念などを表す多様な語句についての理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・相手や目的に応じて話の形態や展開に違いがあることに気付いたり、文の成分の順序や照応、組立てなどについて考えたり話したり聞いたりしている。 ・単語の活用について理解し、助詞や助動詞などの働きに注意して話したり聞いたりしている。 ・共通語や方言の果たす役割などについて理解して話したり聞いたりするとともに、敬語についての理解を深め生活の中で適切に話したり聞いたりしている。
単元の評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ・「教室には冷房設備が必要か」についての自分の立場を決め、その根拠となる情報を整理し、自分の考えを話したり、相手の話を的確に聞き取ろうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話し手は、根拠となる様々な情報をもとにして立場を明確にし、相手に伝えている。 ・聞き手は話し手の考え方や自分自身のそれを比較したり、話の根拠を確かめている。 ・話し手は中心となる根拠を決め、その根拠が明確になるよう話の展開や構成を工夫して相手に伝えている。また、聞き手は話し手の根拠の中心を的確に聞き取り、自分との共通点や相違点を聞き分け、考えを深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・根拠を説明するために、抽象的な語句を理解し、自分の文章や話の中で適切に用いている。
単位時間における具体の評価規準	<p>話し手は自分の立場に沿って、調べた情報をもとにした根拠を相手に伝えようとしている。</p> <p>話し手と同じ立場の聞き手は、さらに説得力を増すための意見を、逆の立ち場の聞き手は説明不足な点や矛盾点を聞き分けようとしている。</p>	<p>「教室に冷房設備は必要か」について出来上がった意見文を読んで伝えるのではなく、根拠の中心となる語句（根拠の中心となる表現や具体的な数値等）をもとに内容を組み立てて考えを伝えている。</p> <p>話し手の根拠の中心を的確に聞き取り、自分の立場と同じ場合は説得力をさらに増すための補足点を、自分の立場と逆の場合は説明不足な点や矛盾点を聞き分けている。</p>	<p>新聞やインターネット上の専門的な語彙や社会生活で用いられている語彙を理解し、それを自分の根拠を明確にするために用いている。</p>

3 指導と評価の計画 < 全 8 時間 >

時	ねらい	学 習 活 動	評価規準	評価方法	指導・援助
1	自分の立場を根拠づけるために、「教室に冷房設備が必要か」の賛否の新聞投書それぞれについて考えをもつことが大切だと分かり、意見文にまとめることができる。	<p>今年の夏を想起し、教室に冷房設備の必要性を考える。</p> <p>「教室に冷房設備は必要か」についての二つの新聞投書に対して、それぞれに自分の考えをまとめよう。</p> <p>自分の立場を決めて、それぞれの投書に対する自分の考えを200字程度でまとめる。</p>	ア - 自分の立場を決め、それぞれの新聞投書に対して自分の考えをまとめようとしている。	観察 教師からの課題提示に対し、興味をもって書こうとしているかを見る。 学習プリント第1段落に立場を書き、第2段落にその根拠が書かれているかを評価する。	新聞の投書の内容をそのまま真似て書かないよう、自分に当てはめて書くように指導・援助する。
2	自分の根拠を確かなものにするためには、具体的な事例や数値が必要だと分かり、図書館やインターネットで調べることができる。	<p>前時に書いた文章の根拠を確かにするためには何を加えたらよいかを考える。</p> <p>確かな根拠にするために目的をもって図書館やインターネットで調べよう。</p> <p>何について調べるのかを決め、自分の根拠に足りない一般的な事実や数値などを、図書館やインターネットで調べ、調査メモに記入する。</p>	ウ - 自分の考えを伝えるためにふさわしい情報を選び出し、取り上げている。	観察 何を調べたいのか目的意識をもって活動している生徒を評価する。 調査メモ根拠を明確にするための調査であったか評価する。	何を調べたらよいか分からない生徒には、班の仲間の例を紹介して方向を決めさせる。 目的の図書のある位置やインターネットでの検索の仕方を示唆する。
3	自分の考えを伝えるためには、中心となる語句を説明するための情報を取捨選択することが大切だと分かり、意見文を仕上げることができる。	<p>前時の調査メモから意見文に必要な情報を取捨選択する。</p> <p>調査メモをもとに、中心となる語句を決め根拠がより明確な意見文に仕上げよう。</p> <p>取捨選択した情報を加工し、中心となる語句を決めて、400字程度の意見文にまとめる。</p>	ウ - 自分の根拠を確かなものにするために、中心となる語句を決め、情報を加工して文章に仕上げている。	意見文 調査した情報が効果的に生かされているか、中心となる語句が明らかになっているかを評価する。	中心となる語句を決めて、それについての情報を加工していくよう指導・援助する。
4	自分の考えを相手に伝えるためには、中心となる語句に沿って話を	<p>前時、仕上げた意見文を読む。</p> <p>中心となる言葉を選び、それについて根拠が話せるように練習しよう。</p> <p>中心となる語句を決めて、それに沿って</p>	ウ - 文章を読むのではなく、中心となる語句に着目しながら話	観察 中心となる語句をもとに、自分の意見を述べようとして	「仕上げた意見文を見ながら」「中心となる語句のみを見ながら」「何も見ずに」という段階をおって練習

	<p>組み立てることが大切だと分かり、その語句に沿って自分の意見を話すことができる。</p>	<p>自分の意見が述べられるように練習する。</p>	<p>を組み立てている。 オ - 専門的な語句を理解して、意見の中に取り込んでいる。</p>	<p>いるか評価する。 観察 専門的な語句を取り込んでいるかを評価する。</p>	<p>していくよう指導する。 調べた語句の中で、自分が説明できる語句を選ばせ、取り入れて話せるように指導する。</p>
5 本 時	<p>説得力のある意見にするためには、話し手は中心となる語句をもとに内容を話として構成して伝え、聞き手は補足すべき点や矛盾点を聞き分けることが大切だと分かり、話合いに参加することができる。</p>	<p>「教室には冷房設備が必要か」についての意見を発表する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>話し手は中心となる語句をもとに意見を発表しよう。聞き手は説明不足な点や矛盾点を聞き分けよう。</p> </div> <p>必要派・不必要派の混じったグループで自分の意見を発表し、同じ立場の生徒は説得力をさらに増すためのアドバイスをメモでき、さらに伝えられる。逆の立場の生徒は説明不足な点や矛盾点をメモでき、さらに伝えられる。</p>	<p>ウ - 意見文を読むのではなく、中心となる語句をもとにして発表内容を組み立てて話している。 ウ - 自分の意見と比較しながら、説明を補わなければならない点や不明な点を聞き分けている。</p>	<p>観察 話し手の根拠を聞き分け、具体的な例を挙げてメモを残したり、意見を述べている生徒を評価する。 ・観察 より説得力のある内容になるように助言している生徒を評価する。</p>	<p>意見が出なかったグループに対しては、全体の場でその意見を発表させ、他の生徒の説得力を増すためには、あるいは、説明不足な点や矛盾点に関する意見を聞いて参考にさせる。</p> <p>話し手の説明不足な点が見つからない生徒に対しては、「分からなかった点はないか」「自分にあてはまるか」などを質問する。</p>
6	<p>より根拠が明確な意見にするためには、立場が同じ仲間や逆の仲間からの意見を組み込むことが大切だと分かり、自分の意見を見直すことができる。</p>	<p>前時、仲間から指摘された部分を加え、意見文を見直す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>仲間の意見を参考にして、より根拠が伝わる意見に仕上げよう。</p> </div> <p>意見文を仕上げた生徒は、中心となる語句から考えをまとめて話せるように練習する。</p>	<p>ア - 仲間からの意見を見つめ直し、自分の根拠をより明確なものにしようとしている。</p>	<p>観察 仲間の意見を取り上げているかどうか、より効果的に伝わるかどうかを評価する。</p>	<p>何を取り上げたらよいのか分からない生徒には、同じ立場で類似した根拠を書いている生徒の例を見せる。</p>
7	<p>自分の視野を広めるためには、相手の考え方と自分のそれを比較することが大切だと分かり、意見発表会に参加できる。</p>	<p>クラスの仲間に向かって意見を述べる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>自分の意見をクラスの仲間に向かって述べ、そのよさを伝えよう。</p> </div> <p>より根拠が明確になるために努力している点を見付け、自分の意見と比較しながら伝えている。</p>	<p>ウ - 自分の意見と比較して努力している点を見付け、それを伝えている。</p>	<p>観察 自分の意見と比較しながら、そのよさを見付け、自分も取り入れていきたいというような向上心のある生徒を認めていく。</p>	<p>発表者への評価が述べられない生徒に対しては、聞き取りメモに「よく調べてあった点」をメモするように示唆する。</p>

4 単位時間の授業展開例

(1) 本時のねらい

- ・説得力のある意見にするためには、話し手は中心となる語句をもとに内容を話として構成して伝え、聞き手は補足すべき点や矛盾点を聞き分けることが大切だと分かり、「教室に冷房設備は必要であるか」の話し合いに参加することができる。

(2) 本時の位置
5 / 7時

(3) 展開案

過程	学 習 活 動	形態	評価について	指導・援助
導入	話し手は意見作文を読むのではなく、「中心となる語句」をもとに意見を発表することを確認する。 話し手と同じ立場の聞き手は説得力を増すためのアドバイスを、逆の立場の聞き手は説明不足な点や矛盾点が見つけれられるように聞くことを確認する。 5分間の個人練習（発表）を行う。	学級全体 個人		本時の課題（学習内容）を確認し、グループ内で協力して話し合いが進むよう示唆する。
展開	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【より納得できる意見にするために】 「教室に冷房設備は必要か」について話し手は中心となる語句をもとに、意見を発表しよう。 聞き手は説明不足な点や矛盾点を聞き分けよう。</p> </div> <p>グループで意見発表を行う。 [話し手] ・自分の立場を最初に話す。 ・意見作文を見ないで、中心となる語句をたよりに根拠を組み立てて話す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>根拠につて</p> <p>必要派の根拠例 勉強に対するやる気が出る。 中心となる語句：実際の%等 温暖化の原因をエアコンだけに向けるのはおかしい。 中心となる語句：温暖化の具体的原因 医学的に適切な温度の環境が必要だ。 中心となる語句：誰がいているのか。 どのような温度が適切と判断したか。 暑い中でも頑張れるという精神論は通じない。 昔から暑い中でもやってきたというが、今は昔とは環境が違う。 《不必要派の根拠例》 税金の無駄遣い 中心となる語句：日常生活のどれくらいの額に相当するのか。他に役立つことに使える額であることの立証。 冷房病になる。 中心となる語句：実際にどれくらいの温度でどれくらいの被害があるか 地球温暖化の原因となる。 中心となる語句：エアコンから排出される二酸化炭素の量を何かにたとえて。 「昔から頑張ってきた」という親の意見。 中心となる語句：親の実際の言葉。</p> </div>	グループ 必要派 と不必要 派の混じ ったグル ープで行 う	ウ - 意見文を読むのではなく、中心となる語句をもとにして発表内容を組み立てて話している。 ・観察 グループ発表の中で、根拠を相手が納得するような内容で発表しているか観察する。 ウ - 自分の意見と比較しながら、説明を補わなければならない点や不明な点を聞き分けている。 逆の立場の生徒は説明不足な点や矛盾点を見付けている。 ・観察 話し手の意見がより説得力のある内容になるように、助言している生徒を評価する。 ・メモ 仲間からの意見をメモし、次時の課題を明らかにしている生徒を評価する。	自分の意見を読むのではなく、相手に向かって話すことに留意させる。声の大きさや間の取り方といったものも重要だが、「立場を決めた根拠を聞き手が納得するように伝える」ことが目的であることを理解させる。 何も見ずに自分の根拠を説明できるのが最終段階であるが、今回は「中心となる語句」を目にしながら話すことが大切であることを分からせる。 話し手の説明不足な点や不明な点を見つける際に、「相手の意見をよりよいものにするための活動である」ことを示唆する。 話し手の説明不足な点が見つからない生徒に対しては、「分らなかった点はないか」「自分にあてはまるか」などを質問しながら、意見がもてるよう指導・援助を行う。
終末	<p>[聞き手] ・同じ立場の生徒は、さらに説得力が増すためのアドバイスや、逆の立場の生徒は説明不足な点や矛盾点をメモをし、話し手に伝える。</p> <p>他のグループの様子を交流し合う。 ・鋭い指摘があった生徒の意見を発表する。 ・説明不足な点や矛盾点が見つからなかった意見を発表し、全体で考える。</p> <p>本時の振り返りを行う。 ・指摘を受けた部分を確認し、次時の準備を行う。</p>	学級全体 個人		話し手の発表に対する意見が少なかったグループの発表を全体の場で取り上げて、どのような意見が考えられるのかを確認させる。 次時のために、加えなければならない説明の部分を教師も確認する。

(3) 展開案

過程	学 習 活 動	形態	評価について	指導・援助
導入	<p>話し手は意見作文を読むのではなく、「中心となる語句」をもとに意見を発表することを確認する。</p> <p>話し手と同じ立場の聞き手は説得力を増すためのアドバイスを、逆の立場の聞き手は説明不足な点や矛盾点が見つけれられるように聞くことを確認する。</p> <p>5分間の個人練習（発表）を行う。</p>	<p>学級全体</p> <p>個人</p>		<p>本時の課題（学習内容）を確認し、グループ内で協力して話し合いが進むよう示唆する。</p>
展開	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【より納得できる意見にするために】</p> <p>「教室に冷房設備は必要か」について話し手は中心となる語句をもとに、意見を発表しよう。聞き手は説明不足な点や矛盾点を聞き分けよう。</p> </div> <p>グループで意見発表を行う。</p> <p>[話し手]</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の立場を最初に話す。 意見作文を見ないで、中心となる語句をたよりに根拠を組み立てて話す。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">根拠につて</p> <p>必要派の根拠例</p> <p>勉強に対するやる気が出る。</p> <p>中心となる語句：実際の％等</p> <p>温暖化の原因をエアコンだけに向けるのはおかしい。</p> <p>中心となる語句：温暖化の具体的原因</p> <p>医学的に適切な温度の環境が必要だ。</p> <p>中心となる語句：誰がいつているのか。</p> <p>どのような温度が適切と判断したか。</p> <p>暑い中でも頑張れるという精神論は通じない。</p> <p>昔から暑い中でもやってきたというが、今は昔とは環境が違う。</p> <p>《不必要派の根拠例》</p> <p>税金の無駄遣い</p> <p>中心となる語句：日常生活のどれくらいの額に相当するのか。他に役立つことに使える額であることの立証。</p> <p>冷房病になる。</p> <p>中心となる語句：実際にどれくらいの温度でどれくらいの被害があるか</p> <p>地球温暖化の原因となる。</p> <p>中心となる語句：エアコンから排出される二酸化炭素の量を何かにたとえて。</p> <p>「昔から頑張ってきた」という親の意見。</p> <p>中心となる語句：親の実際の言葉。</p> </div> <p>[聞き手]</p> <ul style="list-style-type: none"> 同じ立場の生徒は、さらに説得力が増すためのアドバイスや、逆の立場の生徒は説明不足な点や矛盾点をメモをし、話し手に伝える。 	<p>グループ</p> <p>必要派と不必要派の混じったグループで行う</p>	<p>ウ -</p> <p>意見文を読むのではなく、中心となる語句をもとにして発表内容を組み立てて話している。</p> <ul style="list-style-type: none"> 観察 <p>グループ発表の中で、根拠を相手が納得するような内容で発表しているか観察する。</p> <p>ウ -</p> <p>自分の意見と比較しながら、説明を補わなければならない点や不明な点を聞き分けている。</p> <p>逆の立場の生徒は説明不足な点や矛盾点を見付けている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 観察 <p>話し手の意見がより説得力のある内容になるように、助言している生徒を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> メモ <p>仲間からの意見をメモし、次時の課題を明らかにしている生徒を評価する。</p>	<p>自分の意見を読むのではなく、相手に向かって話すことに留意させる。声の大きさや間の取り方といったものも重要だが、「立場を決めた根拠を聞き手が納得するように伝える」ことが目的であることを理解させる。</p> <p>何も見ずに自分の根拠を説明できるのが最終段階であるが、今回は「中心となる語句」を目にしながら話すことが大切であることを分らせる。</p> <p>話し手の説明不足な点や不明な点を見つける際に、「相手の意見をよりよいものにするための活動である」ことを示唆する。</p> <p>話し手の説明不足な点が見つからない生徒に対しては、「分からない点はないか」「自分にあてはまるか」などを質問しながら、意見がもてるよう指導・援助を行う。</p>
終末	<p>他のグループの様子を交流し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 鋭い指摘があった生徒の意見を発表する。 説明不足な点や矛盾点が見つからなかった意見を発表し、全体で考える。 <p>本時の振り返りを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 指摘を受けた部分を確認し、次時の準備を行う。 	<p>学級全体</p> <p>個人</p>		<p>話し手の発表に対する意見が少なかったグループの発表を全体の場で取り上げて、どのような意見が考えられるのかを確認させる。</p> <p>次時のために、加えなければならない説明の部分を教師も確認する。</p>

5 評価の実際と個に応じた指導事例

(1) 本時重点的に取り上げた評価規準

- イ - : 出来上がった意見文を読んで伝えるのではなく、根拠の中心となる語句をもとに内容を組み立てて考えを伝えている。
- イ - : 話し手の根拠の中心を的確に聞き取り、自分の立場と同じ場合は説得力を増すための補足点を、自分の立場と逆の場合は説明不足な点や矛盾点を聞き分けている。

(2) 個に応じた指導の実際

【イ - にかかわって】

前時まで、指導を行った

自分の発表を中心となる語句をもとにして、意見を述べるのが難しい生徒

中心となる語句だけを見て内容を組み立てることが難しいため、発表の際には、「発表メモ」を見て話すことを指導した。(中心となる語句の決定については、他の時間に指導をした。)

「発表メモ」を見ても話すことが難しい生徒には、あらかじめ原稿を作成し、それを見て話すように指導した。(最終的にはメモを頼りに内容をまとめられることを指導。)

中心となる語句への付加的な裏付けが弱い生徒

中心となる語句が、幾つも存在するため、説得力に欠けてしまう場合には、根拠を絞って内容を組み立てるように指導した。

付加的な裏付けのために、一般的な数値を見付けることを指導した。数値は、インターネットで調べたり、より身近なものを探す場合には学級の生徒へのアンケートをとるように指導した。

広い範囲から情報を集めてはいるが、一般的なことに終始している生徒

間接的には分かるが、直接的には実感がわいてこないような内容の組立については、身近な例に置き換えて考えてみることを指導した。例えば、「室内の気温が上昇すると心臓や循環器系にかかる負担が多い」ということを中心となる語句にすえた生徒については、実際に今年の夏の保健室の利用者数を調べさせたりして、自分や仲間の体験と調べた事実とを比較しながら説得力の増す論理の展開を指導した。

中心となる語句に至るまでの構成の仕方に難しさを感じている生徒

発表メモを作る際に「構造的にまとめる」ことを指導した。中心となる語句を最後にすえ、それに至るまでの内容の組立を「中心となる語句をサポートする語句(1) 中心となる語句をサポートする語句(2) (3)..... 中心となる語句」という流れで指導した。「二酸化炭素の一番の原因が煤」ということを中心となる語句にした生徒の例では、手に入れた情報をまとめて「強い日光 熱を発生 太陽エネルギー インド洋実験 工業化以前の時代から 3~5倍の強さ 煤が一番の原因」というように、中心となる語句をサポートする語句を抽出して発表メモを作らせた。

図書室やインターネットで調べた事実がある生徒に対しては、「一般的な事実 自分の体験(我が家では、我がクラスではどうか。自分だったらどうか。)に置き換えて考えてみる 中心となる根拠」と論理を展開するように指導した。その際、実際にアンケートをとって見て一般的な事実と比較することが、有効な中心となる語句への裏付けとなることを示唆した。

【イ - にかかわって】

説明不足な点や矛盾点を聞き分けることに抵抗がある生徒

例えば、「具体的な数値があるか」「多面的に見ているか」「自分の生活にはあてはまるかどうか」「~

と思う、という表現は多くないか」等の聞く視点を与えた。

又、逆に、自分の意見の構成にはない中心となる語句への付加的な裏付けの工夫がある仲間の発表はメモをさせ、自分の発表の改善に用いるように指導した。

(3) 授業後の評価

授業後の評価については、以下の項目で自己評価を行い、感想を書かせた。

今日の学習の自己評価			
【記入方法】 と は a b c のどれかに を打とう。 は か x を打とう。			
	評価の基準	具体的な評価の内容	・ x
話 す 力	a	中心となる語句を見ずに頭に置いて、内容を組み立てて発表できた	
	b	中心となる語句を見ながら、内容を組み立てて発表できた	
	c	発表メモを見ながら、自分の考えを発表できた	
聞 く 力	a	仲間の意見への補足点・説明不足な点・矛盾点を発表できた	
	b	仲間の意見への補足点・説明不足な点・矛盾点をメモできた	
	c	仲間の意見への補足点・説明不足な点・矛盾点が分からなかった	
	b	意見文の参考となる仲間の発表や仲間の自分への意見を見付けられた	

【イ - にかかわって】

指導：具体的な数値があるかどうか、注意して聞いてみる

- ・「室内と室外の温度差が激しいと、体温調整がうまくいかない。だから、クーラーは必要ない。」という意見に対して、『具体的な温度差はどれくらいか不明である。』という説明不足な点を見付けられた。
- ・「クーラーをつけると冷房病になる人が多い。だから、クーラーは必要ない。」という意見に対して、『どれくらいの人がかかるのか分からない。』という、説明不足な点を見付けられた。

指導：多面的に見ること、一つのことだけに偏って考えていないか注意して聞いてみる

- ・「二酸化炭素の量で最も多いのが煤であるから、クーラーを使用しても環境汚染にはならないから必要である。」という意見に対して、『煤が一番でも、クーラーから二酸化炭素が排出されていることには変わりない。全国の学校で使用すれば、量は確実に増えるはず。』という、矛盾点を見付けられた。
- ・「クーラーは地球温暖化の原因であり、世界的にも環境に関する会議がストックホルム、リオデジャネイロ、京都で行われている。世界的にも問題視されている二酸化炭素の排出の原因の一つがクーラーなのだから、学校に設置すべきではない。」という意見に対して、『クーラーをつけずに会議を行ったという記録もなく、夏の暑い時期に京都で会議を行えば必ずクーラーをつけるはずだ。会議がたくさん行われているのは分かるが、会議に参加している人がクーラーの必要性を本当に考えているかどうかよく分からない。』という、矛盾点を見付けられた。

指導：自分の生活にあてはめて考えてみる

- ・「3000億円をクーラー設置の費用に使うより、アフガニスタン難民救援に使用すれば、1250万人の10年分の食糧が確保できる。だから、学校にクーラーを設置すべきではない。」という意見に対して、『アフガニスタンの難民救援は確かに必要だが、それを行ったとしても、教室が暑いことには変わりなく、理由にならない。』という、説得力の足りない点を見付けられた。

指導：「～と思う。」という表現に注意して聞いてみる

- ・「今年の夏は暑くて、気分が悪くなったり保健室に行った生徒も多かったと思う。だから、クーラーは必要だ。」という意見に対して、『「～と思う。」というのは、自分の考えであって、実際のデータもないし、調査もしていない。事実があった方が納得できる。』という、説得力の足りない点を見付けられた。

